

第 4 回の講義の補足

行列の分割を用いた積の計算法（教科書 11 ページ参照）が正しいことを証明する。

$m \times n$ 行列 A と $n \times r$ 行列 B を次のように分割する：

$$A = \begin{pmatrix} A_{11} & A_{12} & \cdots & A_{1t} \\ A_{21} & A_{22} & \cdots & A_{2t} \\ \vdots & \vdots & & \vdots \\ A_{s1} & A_{s2} & \cdots & A_{st} \end{pmatrix}, \quad B = \begin{pmatrix} B_{11} & B_{12} & \cdots & B_{1u} \\ B_{21} & B_{22} & \cdots & B_{2u} \\ \vdots & \vdots & & \vdots \\ B_{t1} & B_{t2} & \cdots & B_{tu} \end{pmatrix}.$$

ただし、ブロック $A_{\alpha\beta}$ は $m_\alpha \times n_\beta$ 型、ブロック $B_{\beta\gamma}$ は $n_\beta \times r_\gamma$ 型であるとする。証明すべきことは、積 $C = AB$ （これは $m \times r$ 行列）を $m_\alpha \times r_\gamma$ 型のブロック $C_{\alpha\gamma}$ を用いて

$$C = AB = \begin{pmatrix} C_{11} & C_{12} & \cdots & C_{1u} \\ C_{21} & C_{22} & \cdots & C_{2u} \\ \vdots & \vdots & & \vdots \\ C_{s1} & C_{s2} & \cdots & C_{su} \end{pmatrix}$$

と分割したとき、ブロック $C_{\alpha\gamma}$ が

$$C_{\alpha\gamma} = \sum_{\beta=1}^t A_{\alpha\beta} B_{\beta\gamma} \quad (\star)$$

で与えられるということである。

$A = (a_{ij}), B = (b_{jk})$ とおく。式 (\star) の両辺の (p, q) 成分（ただし $1 \leq p \leq m_\alpha, 1 \leq q \leq r_\gamma$ ）を a_{ij}, b_{jk} を用いて表して、両者が等しいことを証明しよう。

左辺 $C_{\alpha\gamma}$ の (p, q) 成分とは、積 $C = AB$ の $(m_1 + m_2 + \cdots + m_{\alpha-1} + p, r_1 + r_2 + \cdots + r_{\gamma-1} + q)$ 成分のことである*。行列の積の定義により

$$(C_{\alpha\gamma} \text{ の } (p, q) \text{ 成分}) = \sum_{j=1}^n a_{m_1+m_2+\cdots+m_{\alpha-1}+p, j} b_{j, r_1+r_2+\cdots+r_{\gamma-1}+q} \quad (*)$$

である†。一方で、

$$\begin{aligned} (A_{\alpha\beta} B_{\beta\gamma} \text{ の } (p, q) \text{ 成分}) &= \sum_{l=1}^{n_\beta} (A_{\alpha\beta} \text{ の } (p, l) \text{ 成分})(B_{\beta\gamma} \text{ の } (l, q) \text{ 成分}) \\ &= \sum_{l=1}^{n_\beta} a_{m_1+m_2+\cdots+m_{\alpha-1}+p, n_1+n_2+\cdots+n_{\beta-1}+l} b_{n_1+n_2+\cdots+n_{\beta-1}+l, r_1+r_2+\cdots+r_{\gamma-1}+q} \\ &= \sum_{j=n_1+n_2+\cdots+n_{\beta-1}+1}^{n_1+n_2+\cdots+n_{\beta-1}+n_\beta} a_{m_1+m_2+\cdots+m_{\alpha-1}+p, j} b_{j, r_1+r_2+\cdots+r_{\gamma-1}+q} \end{aligned}$$

* $\alpha = 1$ のときは「 $m_1 + m_2 + \cdots + m_{\alpha-1}$ 」は 0 であると解釈してください。 $\gamma = 1$ のときの「 $r_1 + r_2 + \cdots + r_{\gamma-1}$ 」についても同様。

†右辺の「 $a_{m_1+m_2+\cdots+m_{\alpha-1}+p, j}$ 」や「 $b_{j, r_1+r_2+\cdots+r_{\gamma-1}+q}$ 」について一言。行列の成分を添字を用いた記法で表すとき、われわれは行番号と列番号を原則的には続けて書く（「 a_{ij} 」のように）ことにしているが、それだと混乱が生じ得る場合には、このようにカンマを入れることがある。教科書 4 ページの例 9 で、クロネッカーのデルタについても同様のことが行われていますね。

だから

$$\begin{aligned} \left(\sum_{\beta=1}^t A_{\alpha\beta} B_{\beta\gamma} \text{ の } (p, q) \text{ 成分} \right) &= \sum_{\beta=1}^t (A_{\alpha\beta} B_{\beta\gamma} \text{ の } (p, q) \text{ 成分}) \\ &= \sum_{j=1}^n a_{m_1+m_2+\dots+m_{\alpha-1}+p, j} b_{j, r_1+r_2+\dots+r_{\gamma-1}+q} \end{aligned} \quad (**)$$

である. (*) と (**) によって, 式 (★) が正しいことがわかる.